

東北支援報告会 11月20日に

グループ〈わ〉は11月20日（火）のジョイラックデーに「第3次東北支援チーム報告会」をカレッジホールで開催します。K S Cの皆さまから寄せられた支援に感謝の気持ちを込めて、“東北大震災のその後”をお伝えします。

第3次では、現役・初参加を含め17人のメンバーが女川・石巻・仙台の仮設住宅・小学校・児童館を訪問し、交流してきました。報告会ではK S Cのメンバーのほか、現地で共演した振興協会チームの女性歌手らが体験発表をします。特別ゲストとして、連携先である女川町復興支援センターから武石久美子氏、氏家錦氏を招き、現地の復興状況を話してもらいます。第3次チームの記録ビデオも同時に上映。ロビーでは写真

パネルを展示するほか、応援物資を販売し、サポート募金も呼びかけます。

▼11月20日（火）10時～12時30分。カレッジホールで。

▼特別ゲスト 女川町復興支援センター 武石久美子氏、 仙台市立商高 氏家錦氏

▼体験発表 マジック・三浦良子（国際9） 銭太鼓・阿部和子（福祉11） 昔遊び・内田たみ子（福祉10） 民謡・波多野武郎（食文16） 童謡・山田保子（音文13） 交流・古後健一（健福18） 進行・海野龍英（食16）、芦田義和（生環15） 振興協会・花城アリア（歌手）

▼記録ビデオ『震災ボランティア奮闘』第3部
（以上の問い合わせは東北支援チームまで）



仮設にグリーンカーテン贈呈

遮熱性にすぐれ真夏の日よけに最適というポリエステル製のガーデンカーテン100組（200枚）が、福祉振興協会を通じて〈わ〉に託され、7月8日に現地で清水・新田の仮設住宅住民にプレゼントされました。石川県の合繊メーカー山越が製造、神戸の販売会社から振興協会に打診があったものです。仮設住宅前で第3次チームの西田理事長から目録を受け取った自治会長は「ありがとう。仮設は暑いので、いいお中元をいただきました」と嬉しそうでした（写真）。

昔遊びの3人、東北へ

昔遊び研究会の3人が8月31日～9月3日の4日間、神戸市社協主催のボランティアバスで東北被災地を訪問。名取市ゆりあげ地区の仮設住宅で、子供たちやお年寄りと一緒に遊んだり、語り合ったりして交流してきました。メンバーは飯川泰郎（国12） 増金スミ子（福11） 大橋洋子（音16）さん。今回の活動は甲南

大などの学生50人が主体で、子供たちとはミニサッカー・鬼ごっこ・射的・フリスビーなどを楽しみ、お年寄りとはふれあい喫茶で話し相手をしてきました。飯川さんたちも動物風船や南京玉すだれを披露しましたが、「若い学生さんたちと一緒に活動できて楽しかった」と話していました。

県から助成金20万円

7月に申請していた「ひょうご安全の日推進事業助成金」が認められ、20万8000円が支給されることになりました。11月の東北支援報告会の費用に充当します。一方、第4次東北派遣チームの資金にするため「しみん基金・こうべ」にも助成を申請しています。審査結果は10月中旬に決まる予定です。

●学園祭で募金呼びかけ

グループ〈わ〉と現役のボランティアセンター、クラブ協議会は学園祭（10月13日）当日、共同で東日本大震災の募金を呼びかけます。入学式に続いて2回目で、お金はあしなが育英会や東北支援活動に使わせていただきます。ご協力をお願いします。

サポート募金賛同者

7月1日～ 9月30日分。敬称略。

林田周治5千円、小林精一2千円、募金箱1004円、細野恵久3千円、須磨区会1万円、林和男1500円、神澤のり子1万円、江崎政男1500円、小谷国子千円、堺沢2万円、前田仁子1万円、東本孝次1060円、上月清2千円、区・部会懇親会1600円、増金スミ子1万円、未来館有志6千円＝計8万5664円。